

LIBRARY

2025

3

月号

大社高校
2025.3.19発行

今年度も最後の号をなりました。今年、あまり本を読めなかった人は、来年度ぜひ図書館に来てみてくださいね。

大学入試に超頻出の本！



『目が見えない人は世界をどう見ているのか』

(伊藤亜紗 光文社)

現代アートの専門家が、目の見えない人が世界をどう認識しているのかについて迫る本。

R7島根県立大学看護栄養学部、R5鳥取大学地域学部など、H27年に発売以来、毎年大学入試で使われています！（群馬大学・岩手大学・福井大学・大阪府立大学その他多数）ぜひ読んでみましょう。

こんな本いかが？



『マンガで世界一わかりやすい英文法の授業』

(関正生 KADOKAWA)

苦手意識のある人でも、楽しく読める！ 大人気のスタディサプリ講師・関先生の講義をマンガ化。



『2025年度版英検過去6回全問題集』

(旺文社)

発売されたばかりの、最新の英検問題集が早速図書館の仲間入り（3級～準1級まで）。英検の受験を考えている人は、ぜひ活用してね。

図書館からのお知らせ

・図書館休館について

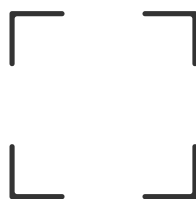
春休み中（3/25~4/6）は、図書館は利用できません。

・長期貸出について

春休みの長期貸出中！
冊数…無制限
返却は4/7の始業式で。



大社高校図書館HPサイト



新着情報のほか、蔵書検索やリクエストなどができます。気軽にのぞいてみてね。





NEW BOOK



『問題。 以下の文章を読んで、家族の幸せの形を答えなさい』

(早見和真 朝日新聞出版)

中学受験を通して、バラバラになりそうな一家の成長を描く。



『マカロンはマカロン』

(近藤史恵 東京創元社)

下町のフレンチ・レストラン、ビストロ・パ・マルの人気シェフは、実は名探偵の顔も持つ。今回も、客が持ち込む謎を鮮やかに解決します。



『遊園地ぐるぐるめ』

(青山美智子・田中達也 ポプラ社)

とある町にある「遊園地ぐるぐるめ」を訪れた6組のお客さん。悩める彼らとともにアトラクションを楽しむと…。



『月とアマリリス』

(町田そのこ 小学館)

『52ヘルツのクジラたち』で屋大賞を受賞した著者の最新刊。北九州の山中で発見された白骨化した遺体をめぐる長編サスペンス。



『女の子に生まれたこと、後悔してほしくないから』

(犬山紙子 ディスカヴァー・トゥエンティワン)

「女の子らしく」ではなく「自分らしく」生きてほしい。他者基準ではない、自分の美しさを見つけよう。



『リュウジ式至高のレシピ3』

(リュウジ ライツ社)

社高生にも大人気のレシピシリーズ第三弾。普段の料理が、少しのアイデアで、自分史上最高の一品に仕上がる。



『イラストが映える！デザイン背景のきほん』

(mashu ホビー・ジャパン)

イラストをより魅力的にする背景のきほん。今すぐ取り入れられるテクニックが詰まった1冊。



『あなたを疲れから救う休養学』

(片野秀樹 東洋経済新報社)

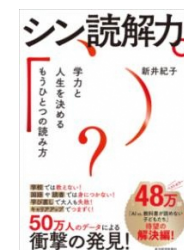
どんな休み方をすれば、効果的に休みがとれるのか？ 疲れを制するものが、人生を制する。



『カラー図解 身のまわりのすごい技術大全』

(浦井良幸 KADOKAWA)

身近にある便利なモノや仕組みについて、カラー図解ですっきり解説。そうだったんだ！が楽しい。



『シン読解力』

(新井紀子 東洋経済新報社)

シリーズ50万部『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』待望の続編！ 50万人のデータによる衝撃の発見。



映画化される本



『少年と犬』

(馳星周 文藝春秋)

高橋文哉・西野七瀬主演で映画化。さまざまな背景を抱えた人々と犬の深い絆を描く、第163回直木賞受賞作。原作では島根県が舞台の短編もあるよ。



『#真相をお話しします』

(結城真一郎 新潮社)

大森元貴・菊池風磨主演で映画化。「何かがおかしい…」あなたはその違和感に気づくことができますか？ 衝撃のどんでん返し。